



干潟の野鳥観察



干潟ならではの野鳥に会える

干潟には多くの生物が棲み、それらを狙ってシギやチドリなどの野鳥が集まります。観察することで干潟の自然の豊かさに気付くことができます。

対象 小学生～大人
場所 干潟
時間 1時間

プログラムの前に…

1. 用意するもの

- ① 双眼鏡
- ③ 解説資料
野鳥の写真やイラストなど
- ② 干潟の野鳥図鑑

※その他に着替え・帽子・タオル・日焼け止めなど活動のしやすい服装や道具を用意する。



2. 事前の準備

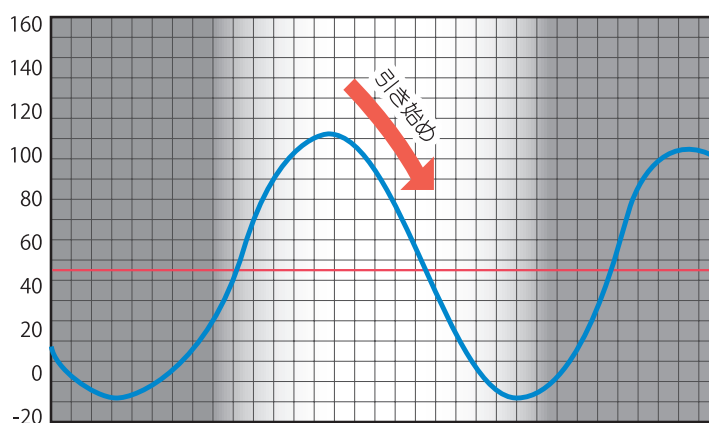
野鳥の状況を確認

- ・実施前に観察を行い、現れる鳥の種類や場所を確認しておきましょう。
- ・現れた野鳥の写真やイラストを用意すると当日に役立ちます。



潮の引き始めと共にプログラム開始

- ・潮が引き始めると野鳥の採食が活発になります。
- ・下記の時間にプログラムを開始できるように調整しましょう。



2. 日くらの本番!

1. 参加者にルールを伝えよう! (約10分)

参加者がそろい挨拶を済ませたら、実施範囲と危険物について共有しましょう。また双眼鏡の操作方法なども確認しておくスムーズに観察できるでしょう。

2. 野鳥を観察しよう! (約40分)

①野鳥を覗こう

いよいよ観察開始です。潮が引き始めると陸地が現れ始めます。初めに現れた陸地に野鳥がこぞって集まり始めるので、遠くから双眼鏡で観察しましょう。

事前にイラストや写真などを用意すると野鳥の種類が紹介しやすいでしょう。

②野鳥の跡探し

観察をしながら徐々に(引き潮と同時に)干潟の奥へと向かうと、野鳥が活動していた場所へと着きます。そうしたら一度双眼鏡を外して足元を見てみましょう。エサを探して歩く野鳥の足跡や、巣穴に嘴を刺した跡など多くの痕跡を見つけることができます。それぞれの痕跡を解説しながら行くとより興味を引き出せるでしょう。

3. ふりかえり(約10分)

今回見られた野鳥の種類や行動について共有しましょう。発見の中から干潟に多くの野鳥が集まり、それらは干潟の生物たちを狙って来ていることを伝えましょう。目の前に広がる干潟の命の豊かさを感じるはずです。



ココがポイント

痕跡で見える野鳥の世界

野鳥の活動場所へ行くと様々な痕跡が散らばっています。足元をよく見て探しましょう。

時には待ち構える

野鳥の中には採食に夢中で人に対する警戒心が弱いものもあります。静かに待ち構えていると向こうから近付いてくることも。

